

I 盲学校中学部点字教科書の編集

1 編集の経緯

学習指導要領が改訂され、平成14年度から新たな教科書が使用されることとなった。これに伴い、盲学校中学部点字教科書（国語、社会、数学、理科、英語）を新たに編集・発行することとし、各教科ごとに編集協力者会議を設け、検討を行った。

編集に当たっては、まず、点訳が比較的しやすいこと及び弱視児にも比較的に見やすいことなどの観点から、点字教科書の原典となる教科書を次のとおり選定した。

原典となる教科書

教科	教科書名		発行者
国語	国語		光村図書出版株式会社
社会	地理的分野	中学社会 地理	教育出版株式会社
	歴史的分野	中学社会 歴史	教育出版株式会社
	公民的分野	新しい社会 公民	東京書籍株式会社
数学	新しい数学		東京書籍株式会社
理科	第1分野	中学理科	教育出版株式会社
	第2分野	中学理科	教育出版株式会社
英語	NEW HORIZON English Course		東京書籍株式会社

また、次項に示す編集の基本方針及び各教科の具体的編集方針に従って、それぞれの原典となる教科書について必要な加除修正等を行い、点字教科書を作成した。

なお、点字教科書の発行は、次の各社が行うこととなった。

教科名	発行者名
国語	社会福祉法人視覚障害者支援総合センター
社会（地理的分野）	社会福祉法人東京点字出版所
社会（歴史的分野）	社会福祉法人東京点字出版所
社会（公民的分野）	社会福祉法人日本点字図書館
数学	社会福祉法人日本ライトハウス
理科（第1分野）	社会福祉法人東京点字出版所
理科（第2分野）	社会福祉法人東京点字出版所
外国語（英語）	社会福祉法人東京点字出版所

本資料は、編集の具体的方針、内容等についてまとめ、今後の指導上の参考とするために作成したものである。本資料の活用によって指導の充実が図られることを期待するものである。

2 編集の基本方針

盲学校中学部点字教科書の編集は、次の原則に基づいて行うこととした。

- (1) 原典の内容そのものの大幅な変更や修正は行わないこと
- (2) やむを得ず原典の内容を修正したり、差し替えたりする場合には、生徒の特性を考慮するとともに、必要最小限にとどめること
- (3) 特に図、表、写真等の取扱いは、慎重に行い、できる限り原典に沿った点訳ができるように工夫すること
- (4) 点字教科書のページは、奇数右ページの右上欄外に示した。また、原典のページは、奇数右ページの左上欄外に「メ」の字で挟んで示した。

3 点字教科書取扱い上の留意事項

- (1) 原典は供給本となるまでに、数次にわたり若干の修正が行われるのが常である。しかし、点字教科書は、見本用の教科書を原典として編集作業を進めるため、供給された原典の教科書と点字教科書との間に意図しない差異が生ずることがある。したがって、点字教科書の使用に当たっては、この点について特に留意する必要がある。
- (2) やむを得ず原典の一部を削除してあるが、その部分の指導においては、それぞれの学習のねらいを踏まえ、適切な教材・教具の活用を図るなどして、点字教科書の内容を補うような配慮が必要である。
- (3) 点字表記の統一については、義務教育段階の表記の一貫性を確保するため、日本点字委員会の定めた「日本点字表記法 2001年版」、「点字数学記号解説 暫定改訂版」、「点字理科記号解説 暫定改訂版」によることとした。

なお、外来語の表記の取扱いについては、国語審議会答申「外来語の表記」(参考資料)及び学校教育における外来語及び音訓の取扱いに関する調査研究協力者会議の「学校教育における外来語および音訓の取扱いについて(審議のまとめ)」を参考にした。

4 盲学校中学部点字教科書編集協力者一覧

(○印は主査)

教科	氏 名	所 属
国 語	井 上 規 生	大阪府立盲学校教諭
	川 田 タイ子	茨城県立盲学校教諭
	駒 井 千枝子	長野県松本盲学校教諭
	小 松 紀 子	筑波大学附属盲学校教諭
	佐 藤 智紀子	愛知県立名古屋盲学校教諭
	長 坂 法 子	山形県立山形盲学校教諭
	濱 谷 和 江	筑波大学附属盲学校教諭
	○原 田 早 苗	筑波大学附属盲学校教諭
古 田 真 次	和歌山県立和歌山盲学校教諭	

教科	氏 名	所 属
社 会	柏 倉 秀 克 金 山 弘 明 鈴 木 拓 也 戸 田 眞 咲 名 倉 洋 ○日 比 暁 松 浦 礼 子 宮 田 守 貴 山 本 貴	愛知県立名古屋盲学校教諭 富山県立盲学校教頭 神奈川県立平塚盲学校教諭 神奈川県立平塚盲学校教諭 宮城県立盲学校教諭 岐阜県教育委員会学校政策課指導主事 和歌山県立和歌山盲学校教諭 東京都立久我山盲学校教諭 静岡県立浜松盲学校教諭
数 学	稲 垣 浩 二 内 田 智 也 ○遠 藤 利 三 関 秀 男 中 田 庸 男 升 谷 利 史 水 門 一 雅 柚 木 正 夫	愛知県立名古屋盲学校教諭 筑波大学附属盲学校教諭 筑波大学附属盲学校教諭 神奈川県立平塚盲学校教諭 筑波大学附属高等学校教諭 千葉県立千葉盲学校教諭 岡山県立岡山盲学校教諭 岐阜県立岐阜盲学校教諭
理 科	○石 崎 喜 治 小保方 英 夫 神 田 正 美 柴 田 廣 秋 長 崎 郁 夫 浜 田 志津子 山 田 毅	筑波大学附属盲学校教諭 岐阜県立岐阜盲学校教諭 愛知県立名古屋盲学校教諭 青森県立盲学校教諭 山形県立山形盲学校教諭 筑波大学附属盲学校教諭 岩手県立盲学校教諭
英 語	石 井 裕 志 大 沢 博 子 ○金 子 昭 小 出 京 子 金 野 孝 柴 田 由紀子 坪 井 美紀子	筑波大学附属盲学校教諭 岩手県立盲学校教諭 前神奈川県立平塚盲学校教諭 静岡県立静岡盲学校教諭 筑波大学附属盲学校教諭 愛知県立岡崎盲学校教諭 茨城県立盲学校教諭

(所属は平成14年3月現在)